

太陽系模型工作

紙ねんどをつかって、太陽系の惑星を、実際の20億分の1の大きさに作ります！

★用意するもの

紙ねんど(なるべく軽いもの)・竹ぐし・つまようじ・えんぴつ・押しピン・糸・白画用紙(13.5cm×13.5cm)・青色画用紙(32cm×45cm)・赤色画用紙(32cm×40cm)・ダンボール(32cm×45cm)・絵の具・セロハンテープ・はさみ・のり

※工作には、竹ぐしやつまようじ、押しピンなどのとがったものや、はさみを使います。保護者の方など必ず大人と一緒に、けがをしないように十分に注意をしてください。

①紙ねんどで惑星を作ろう！

(mmとcmの違いに注意！)

水星…2.5mm 金星…6mm
地球…6.5mm 火星…3.5mm
木星…7cm 土星…6cm
天王星…2.5cm 海王星…2.5cm

※土星の輪は白の画用紙で直径13.5cmの円を作り、直径7.5cmの円をくりぬいてドーナツ状にする。



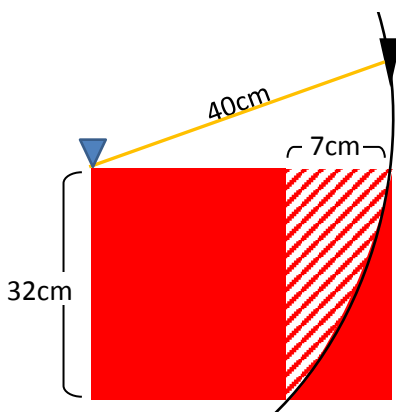
③紙ねんどの木星・土星に竹ぐしを、水星・金星・地球・火星・天王星・海王星につまようじをさして乾かします。



②太陽は惑星よりとても大きいので、一部分だけを作ります。

糸を鉛筆にくくりつけます。
押しピンから鉛筆までが40cmになるように、糸の長さをはかり、押しピンでとめて赤い画用紙に円の一部を描きます。
下の図の斜線の部分を切り取ります。

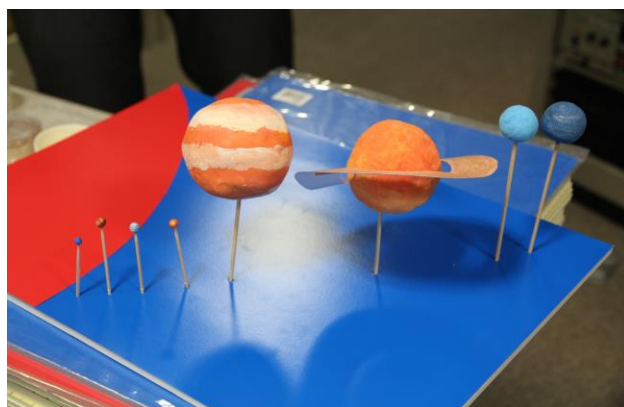
ダンボールと青の画用紙を縦32cm横45cmに切り、のりで貼り合わせます。
赤い画用紙で作った太陽を、④の写真のように青い画用紙の上にのりで貼ります。



↑が難しければ、32cm×7cmの画用紙に手書きで曲線を描いてもOK

④紙ねんどに絵の具で色をつけてから青い画用紙を貼ったダンボールにさします。

下の写真のように、太陽から水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星の順に並べてさせば完成です。
※木星・土星の竹ぐしが不安定な時は、根本をボンドなど工作用接着剤で固定してください。



★土星の輪のつけ方(土星と輪にも色をぬってから)つまようじ2本を土星の横にさし、輪の裏側から画用紙(輪)とつまようじをセロテープで固定します。



←裏から見たところ